

母 校 の 沿 革

前 身

西暦(元号)	主 な 沿 革	主なニュース
1915(T4)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山県農事試験場練習生規程を定め、町村農会技術員の養成を開始した。(甲種農学校卒業を対象に修業年限1年) 	第1次世界大戦(T3)
1917(T6)	<ul style="list-style-type: none"> 練習生に月5円の補助を支給し、練習後は町村技術員として1年間の義務年限を附した。 	
1920(T9)	<ul style="list-style-type: none"> 練習生を甲種、乙種の2部制とし、甲種は甲種農学校卒業者を1年間、乙種は高等小学校卒業生を2年間修学させた。 	
1924(T13)	<ul style="list-style-type: none"> 農事試験場を吉備郡高松村(岡山市原古才)から岡山市北方に移転した。 	関東大震災(T12)
1927(S2)	<ul style="list-style-type: none"> 規程を改正して、岡山県農業技術員練習生規程とした。 普通農事練習生(定員25名)は本場で、園芸練習生(定員5名)は園芸部で養成した。 	農業恐慌(S5)
1938(S13)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山県立農会技術員養成所と改めた。 普通農事練習生、園芸練習生、養蚕練習生に区分して教育した。 	太平洋戦争勃発(S16)
1944(S19)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山県立農業技術員養成所と改めた。(定員50名) 岡山市津島に専用寄宿舎を設置し、農業会より専任職員1名が舎監として派遣された。 	太平洋戦争終戦(S20)
1946(S21)	<ul style="list-style-type: none"> 寄宿舎が進駐軍に接收され、農事試験場施設を一部改造して寄宿舎に利用した。 	新憲法公布(S21)
1947(S22)	<ul style="list-style-type: none"> 養成所規程を改正して、修業年限を2年、定員70名(1学年35名)にした。 	
1948(S23)	<ul style="list-style-type: none"> 御津郡牧石村三軒屋(岡山市宿三軒屋)の旧陸軍建物を買上げて、専用寄宿舎を新設した。 	
1949(S24)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山県立農業講習所設置条例が公布され、普及員の養成と再教育及び中堅農業者の養成を開始した。従来の養成所は廃止された。 	中華人民共和国建国(S24)
1950(S25)	<ul style="list-style-type: none"> 人事院より「都道府県立農業講習所本科卒業者の初任給を旧制専門学校と同等と認める。」旨の通達があった。 三軒屋の寄宿舎を農業試験場内に移転した。講習科を廃止した。 	朝鮮戦争勃発(S25)
1952(S27)	<ul style="list-style-type: none"> 果樹園芸科を新設して、果樹園芸家の後継者養成を開始した(修業年限1年、定員20名)。研究科を修業年限1年、定員30名に改めた。 果樹分教所を上道郡財田町(農業試験場果樹分場内)に設置した。 	
1953(S28)	<ul style="list-style-type: none"> 本科、研究科の学生から授業料を年間3,600円徴収することになった。 	
1959(S34)	<ul style="list-style-type: none"> 農業試験場笠岡果樹母樹園(笠岡市新賀)内に果樹分教所を新設した。 	
1962(S37)	<ul style="list-style-type: none"> 講習所規則の一部を改正して、本科1学年の定員を40名とし、農業課程、園芸課程、畜産課程に区分して教育を始めた。 研究科を専攻科に改め、定員を20名とした。 	農業基本法公布(S36)
1963(S38)	<ul style="list-style-type: none"> 畜産教育施設を岡山県酪農試験場(津山市大田)内に完成した。 	
1964(S39)	<ul style="list-style-type: none"> 農業土木科を新設して、市町村における農業構造改善事業を推進する農業土木技術者の養成を始めた。(高等学校卒、修業6ヵ月、定員20名) 	

西暦(元号)	主 な 沿 革	主なニュース
1965(S40)	<ul style="list-style-type: none"> 農業講習所設置条例を改正して、農業指導者の養成及び再教育並びに中堅農業者の養成を設置目的にした。また、分教所を新設した。 園芸分教所3カ所（岡山市土田、上道郡上道町、笠岡市新賀） 畜産分教所3カ所（岡山市平田、津山市大田、新見市千屋） 養蚕分教所（津山市二宮） 農業講習所規則を一部改正し、養蚕課程を追加し、本科1学年定員を60名にした。 創立50周年記念事業を行った。（記念誌発行、記念式典11月28日） 	<p>東京オリンピック開催(S39)</p> <p>笠岡湾干拓事業着手(S41)</p>

農業大学校

西暦(元号)	主 な 沿 革	主なニュース
1968(S43)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山県農業大学校設置条例が公布され、近代的農業を担当するにふさわしい中核的人材を養成する機関として、赤磐郡赤坂町に県立農業大学校が設置された。岡山県立農業講習所及び岡山県立三徳農業研修所は廃止された。 本科は、高等学校卒業者、修業年限2年、定員50名（1学年）とし、分校を4カ所に設置した。 岡山分校（岡山市平田、岡山県養鶏試験場内） 津山第一分校（津山市二宮、岡山県立農業試験場養蚕部内） 津山市二分校（津山市大田、岡山県酪農試験場内） 大佐分校（阿哲郡大佐町、岡山県和牛試験場内） 6月24日岡山市学南町の仮校舎から新校舎（赤磐郡赤坂町）に移転した。 11月1日農業大学校竣工式及び開校式を挙行了した。 	
1969(S44)	<ul style="list-style-type: none"> 農業大学校条例施行規則の一部を改正した。 本 科：指導的農業者の養成、高等学校卒、2年修業、 1学年定員35名 研究科：農業指導者の養成、高等学校卒、2年修業、 1学年定員15名 専 科：実践的農業者の養成、高等学校卒、1年修業、定員50名 	アポロ11号月面着陸(S44)
1971(S46)	<ul style="list-style-type: none"> 農業大学校条例の一部を改正して分校を追加した。 笠岡分校（笠岡市新賀、岡山県笠岡園芸センター内） 	大阪万国博覧会開催(S45)
1972(S47)	<ul style="list-style-type: none"> 養鶏試験場の御津郡御津町伊田移転に伴い、岡山分校を御津分校に名称変更した。 8月24日講堂兼体育館落成記念事業協賛会を設立して、内部施設充実のために目標500万円の浄財を募金することになった。 	新幹線岡山まで開通、札幌オリンピック(S47)

西暦(元号)	主 な 沿 革	主なニュース
1973(S48)	<ul style="list-style-type: none"> 農業試験場北部支場の整備に伴い、津山第一分校を久米分校に、津山第二分校を津山分校に名称を変更した。 	
1974(S49)	<ul style="list-style-type: none"> 12月6日に創立60周年及び講堂兼体育館の落成式を挙行了した。 	
1977(S52)	<ul style="list-style-type: none"> 農業大学校条例施行規則の一部改正を行い、農業自営者養成機関として一本化し、研究科(指導者養成)・専科を廃止した。(1学年定員50名) 新たに農家留学研修を義務づけた。 	
1978(S53)	<ul style="list-style-type: none"> 10月7日農業大学校開設10周年記念事業「農大卒業生の集い」を挙行了した。 北寮を増設し、食堂を拡張、現場教室及び機械庫を新設した。 	
1979(S54)	<ul style="list-style-type: none"> 農業大学校条例施行規則の一部改正して、作物専攻を廃止し、中核的農業者養成を目標に、農産園芸課程(果樹農産、野菜農産、花き農産、開発農業専攻)、農産畜産課程(畜産農産、開発農業専攻)とした。 	
1981(S56)	<ul style="list-style-type: none"> 生産物集出荷場を新設した。 	イラン・イラク戦争(S55)
1982(S57)	<ul style="list-style-type: none"> 寮の一部を改造し、女子宿泊施設を設置した。 実習施設(果樹温室、花きハウス)、畑地灌水施設を整備した。 	
1983(S58)	<ul style="list-style-type: none"> 農業大学校開校15周年記念誌を発行した。 11月1日「卒業生の集い」を開催した 	
1985(S60)	<ul style="list-style-type: none"> パソコン機器を導入した。 	国鉄民営化(S62)
1986(S61)	<ul style="list-style-type: none"> 植物組織培養施設、実習施設(養液培養施設)を整備した。 	
1988(S63)	<ul style="list-style-type: none"> 農業大学校創立20周年記念式典を行った。 	岡山空港開港、瀬戸大橋開通(S63)
1989(H1)	<ul style="list-style-type: none"> 農業大学校条例の一部改正により、御津、津山、大佐分校を旭分校に統合した。 	東西ドイツ統一(H1)
1991(H3)	<ul style="list-style-type: none"> 農業大学校条例の一部改正により、笠岡、久米各分校を廃止し、農産園芸課程及び農産畜産課程を園芸課程(果樹専攻、野菜専攻、花き専攻)及び畜産課程(和牛専攻、中小家畜専攻)とした。 就農希望者等が専門的知識・技能等を習得するため、聴講生制度を設置した。 	岡山食と緑の博覧会(H2) 湾岸戦争(H3)
1992(H4)	<ul style="list-style-type: none"> 第2教育棟(2F延600㎡)の新設により、バイオ実験室、化学実験室、情報処理教室及び視聴覚教室を整備した。 	ガット・ウルグァイ引退、冷夏長雨で米の作柄不良(H5)
1993(H5)	<ul style="list-style-type: none"> 旭分校に、教室及び寮を新設した。 花き集出荷場を新設した。 	
1994(H6)	<ul style="list-style-type: none"> 女子学生の増加に伴い、女子寮(2F延329㎡)を新設した。 オーストラリア研修旅行を開始(～16年度) 	
1995(H7)	<ul style="list-style-type: none"> 自営者養成を積極的に行うため、推薦入学制度を導入した。 	阪神淡路大震災(H7)
1996(H8)	<ul style="list-style-type: none"> 運動場(5,500㎡)を改良・整備し、ほ場内にトイレを設置した。 	
1997(H9)	<ul style="list-style-type: none"> 現場教室の増築を行った。 	
1998(H10)	<ul style="list-style-type: none"> 平成10年2月10日に農業大学校創立30周年記念式典を行った。 	長野オリンピック(H10)
1998(H10)	<ul style="list-style-type: none"> 同窓会就農部会(フロンティア21)が設立された。 	

西暦(元号)	主 な 沿 革	主なニュース
1999(H11)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山県農業センター条例の施行により「岡山県農業総合センター農業大学校」に名称変更した。 農大フェアを開始した。 他産業経験者等の就農を支援するため「社会人就農研修」を開始した。 	食料・農業・農村基本法公布(H11)
2003(H15)	<ul style="list-style-type: none"> 農業総合センターで青空知事室が開催され、石井知事が農大農場を訪問された。 	アメリカ同時多発テロ(H13)
2006(H18)	<ul style="list-style-type: none"> 農業実務研修生や新規就農者を対象に「新規就農者研修」を開始した。 	晴れの国おかやま国体(H17)
2007(H19)	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育法に基づく、「専修学校」となった。 農業高校の生徒を対象とした体験研修会を開始した。 農業大学校創立40周年を記念し、「純米酒 農大賛歌」を醸造した。 	
2008(H20)	<ul style="list-style-type: none"> 農業大学校創立40周年記念式典を行う。(11月22日) 	
2010(H22)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山県農林水産総合センター条例の施行により、「岡山県農林水産総合センター農業大学校」に名称変更した。 岡山県農林水産総合センター条例施行規則の改正により入学定員を35名に変更した。畜産課程中小家畜コースの募集を中止した。 	
2011(H23)	<ul style="list-style-type: none"> 南寮を撤去し、木造2階建ての学生寮(春風寮)と研修交流ホールを一体的に整備した(平成24年3月)。 	東日本大震災(H23)
2012(H24)	<ul style="list-style-type: none"> 農大フェアを農大新鮮市として研修交流ホールで開催した。 学生の精神面のケアを行うため、メンタルヘルス相談員(保健師)を設置した。 	
2015(H27)	<ul style="list-style-type: none"> 農大食堂で農大産の米の使用を開始した。 学生の就職就農を支援するため「農業法人等説明会」を農大で開催した。 	第1回おかやまマラソン(H27)
2016(H28)	<ul style="list-style-type: none"> 7月28日、皇太子さまが農林水産総合センターを視察され、出発の際に農業大学校の学生を激励された。 農大で狩猟免許講習を開始した。 	岡山で中国インターハイ総合開会式(H28)
2017(H29)	<ul style="list-style-type: none"> 応用技術研修のガス溶接を廃止し、学生を対象に刈払機取扱作業安全衛生教育を開始した。 	
2018(H30)	<ul style="list-style-type: none"> 社会人就農研修を担い手育成の拠点施設として再整備した三徳園を主な会場として実施した。 GAP実践論、資格取得のためのフラワー装飾学習を開始した。 	